

チーム名	はるのこひつじ	大学名・学部	國學院大學 観光まちづくり学部	福島復興ステージ
プラン名称	染物のまち・川内村 ～川内村をdye好きになるツアー～			
リーダー名	小村恋晴	メンバー名	辻響輝	
指導教職員名	石垣悟			

### 問題意識

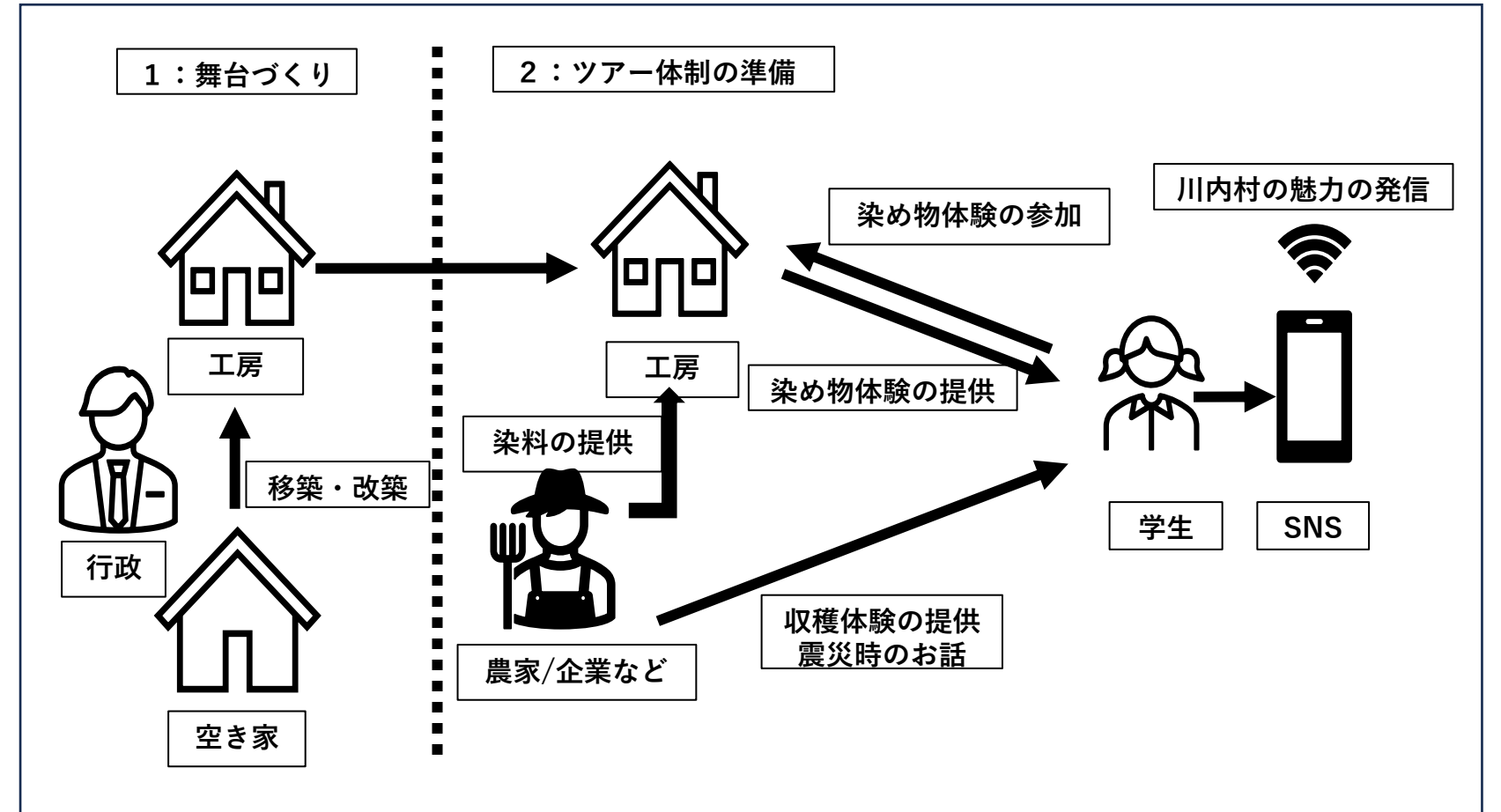
- ・ 空き家や耕作放棄地が多い
- ・ 長期的に続く企画がない
- ・ 人口が少ない

### 問題の解決策

・ 川内村の特産品の廃棄物から作った染料で染め物を行う体験ツアーを実施。村内の空き家を改築し、工房として利用する。現存する産業とかつて村の産業の一角を担った養蚕業を結び付け、**新しい川内村**の姿を生み出す

3年単位で関係人口と売上高を計算  
 →関係人口+2160人（現村内人口約9割）  
 売上高+23,760,000円（日帰り）  
 （1ツアー15人、予算一人当たり18000円から交通費をひいた額）の効果

### 実現計画



### 提案による期待できる効果 問題に対する影響

空き家を工房にすることで**空き家数を減少**・染料元の作物を栽培する畑を増やし**耕作放棄地を減少**。

染物産業がもたらす**雇用の増加、それに伴う関係・生産人口の増加**

年間の**観光の閑散期の発生を防ぐ**

### 提案が生み出す新規性

染物×田園風景×木戸川  
**文化的景観**の形成

染物という**新しい産業**の誕生

地元住民が取り組みに関わることによる**アイデンティティの確立**